

2010 年 10 月 22 日

ほしぞらサロン 2010 年 8 月 議事録

文責：角田 佳昭

日 時： 2010 年 8 月 28 日（土）18:00 ～ 22:00

場 所： 宗像ユリックス プラネタリウムドーム・第 3 会議室

参加者： 池上, 岡村, 坂本, 篠原, 竹口, 坪井, 広滝（満）, 藤本（己）, 藤本（由）, 町田,
松井, 山田（明）

（50 音順, 敬称略）

職 員： 加藤, 小野田, 鳥越, 角田

見学者： 角^{すみ}さん

（計 17 名）

サロンの前に、七夕の笹飾りの撤収を手伝っていただきました。

1 篠原さんのウォッチング解説再現, 岡村さんのライブ発表 (8 月 21 日 ウォッチング分)

前回のほしぞらウォッチングでは、篠原さんがプラネタリウム内で解説をしていただいた。また、屋外での解説のために岡村さんがプラネタリウムで練習されていた。せっかくなので、サロンに先立ち、プラネタリウムのドームでスタッフ向けに再現・発表してもらった。

篠原さんの解説は、リーダーである宮田君の顔写真を使って、金星の満ち欠けを説明するという、とてもユニークなものだった。

2 ほしぞらウォッチングの改善点について

2.1 前回のウォッチングで挙げられた提案などについて

- 篠原さん

屋外での解説時に使用しているライトに、防眩の為にフードを付けるといいのではないか。ライトから漏れてくる光が邪魔になっているようだった。

- 岡村さん

屋外で星空を案内するとき、どこに向かってしゃべったらいいのかが分からなかった。来場者の反応が良かったので、話しやすかった。

- 池上さん

今回もスタンプカードにスタンプを押すのを担当した。いつもきてくれる、馴染みの方が増えてきているように思う。

お母さん方から、今日見た天体を聞かれることが多かった。何か、紙で渡せるものがあるといいのではないか。（角田 > 夏休みだったこともあり、そういう質問が多かったのかもしれない。夏休みの宿題のために親が尋ねてくるケースは多い。しかし、「子ども」の宿題を親が手助けするのは望ましくない。できれば、子どもに覚えて帰ってもらいたいという思いはある。）

- 竹口さん

プラネタリウムの番組を見にこられた方が、ウォッチングを知らないようだった。もっと館内にポスターを貼るなどして広く知ってもらってはどうか。

(加藤 > プラネタリウム前のホワイトボードで案内を出している。それ以外に、特に館内にポスターを貼るということはこれまではやっていない。プラネタリウムに来館されている方には、パンフレットと一緒にチラシを渡している。そのため、プラネタリウムの来場者にはほしぞらウォッチングの案内は伝わっていると思われる。)

(職員 > スタンプカードをユリックス 1 階のインフォメーションに設置してもらったり、ウォッチングの年間スケジュールをいろいろな場所(アクアドームやパットゴルフ)に貼ってもらえると良いのかもしれない。)

- 藤本(由)さん

今回は、子どもが多かったこともあり、走り回る人が多くて困った。

しゃがむのがつらい方もいらっしゃるの、脚立の他につかみやすいものや、腰掛けられるものがあると良さそうだった。

- 小野田

いつものことではあるが、プラネタリウムでの解説を外で望遠鏡を準備しているスタッフが聞くことができない。来場者は、プラネタリウムの解説を聞いて屋外の望遠鏡を見るという流れなので、どんな話があったのか、できるだけスタッフが知っておいた方がよいと思う。(例えば、今日の見どころや、見つけ方などを紹介しているの。)

今は、以前のように 17 時からのプラネタリウムの回がない。そこで、例えば 17 時にスタッフに集合してもらって、最初にライブの練習がてら、スタッフのみんなに聞いてもらえるといいのかもしれない。

- その他

当日の反省会では、「PA の音が大きすぎて、お客さんに声をかけるのを遮られてしまった。PA の置く場所や向きを検討して欲しい。」などの意見も出されていました。

2.2 車いすへの対応について

エム・ワイ・ピー総会で、理事の合島さんから、観望会で車いすの方への対応を考えてもらえたらという話が出ていた。

これまでに、ほしぞ・ラボの掲示板でスタッフのみなさんから意見を出してもらっていたので、掲示板に投稿された資料を印刷したものをしながら、話を進めていった。

車いすの方は立ち上がることができないことが多いため、車いすに座った状態で望遠鏡に近づくことになる。そのため、通常の赤道儀や三脚のある状態では、車いすのままでは近づくことが難しい。

公共の天文台などでは、床が昇降したり、接眼部が固定されているクーデ式望遠鏡が設置されていたりと、車いすでも見やすいように配慮されているところもある。しかし、これらは私たちが工夫して対応できる範囲のものではない。

また、ワンダーアイという、車いすでも望遠鏡を覗けるように工夫された商品もある。接眼部を自由に向けることができるので、どんな体勢でも(大人でも子どもでも)見やすくなるものである。しかし、望遠鏡のお店に伺ったところ、ユリックスの望遠鏡で使えるサイズのものはないらしい。

そこで、みなさんから様々な意見を出してもらうことになった。

- 広滝さん

望遠鏡を長机の上に置き、車いすごと机に入ってもらえれば、見やすくなるのではないかと。また、机の代わりに、板などを加工して作ってしまってもいいのかもしれない。望遠鏡は、AT-MACS やミードの小型望遠鏡のような経緯台形式だと見やすいのではないかと。

- 山田(明)さん

Vixen のスカイポッドシリーズは、経緯台方式で自動導入・自動追尾ができるようになっている。Web ペー

ジの写真を見ると、経緯台の下部がピラー脚のようなので、通常の三脚よりは車いすが近づきやすいのではないかと。

- 坪井さん

以前、車いすの方に、卓上で使えるミードの望遠鏡で覗いてもらったことがある。しかし、机に触れてしまうとすぐに動いてしまった。

- 篠原さん

職場に旋盤加工ができるところがあるので、ちょっとした金属加工などではできるかもしれない。（自由に使えるので、ゆくゆくは使っていきたいと思っているところだった。）

- 角田

覗くところが低くすぎると、車いすの状態では見るができなくなってしまうそう。むしろ、高いところを見上げるくらいの方が良いのかもしれない。

大きなワンボックスを洗車するときに使うような、途中で折れる脚立のようなものの上に望遠鏡を置けば、比較的に望遠鏡を置く台ができるかもしれない。

ピラー脚については、以前、不要な望遠鏡を戴いた時のものが望遠鏡を置いている倉庫にある。

なお、市内の教育大学にも旋盤加工ができる設備がある。

車いすを使って望遠鏡を覗くときに、どんな問題点があるのかを検証する必要があるのではということになりました。そこで、次回以降のウォッチングの時に、実際にユリックスの貸し出し用の車いすを持ち出して見ることにしました。

3 9月23日（木・祝）のほしぞらウォッチング（お月見）について

9月23日（木・祝）のほしぞらウォッチングは、リーダーを坂本さんが引き受けて下さることになった。また、サブリーダーを山田（明）さんが引き受けて下さった。

今回は、昨年のようにダンスがあったりすることはありませんので、スタッフで自由に内容を検討することができる。坂本さんが、お月見ウォッチングの参加が初めてということもあり、過去のお月見ウォッチングの様子などを紹介していった。

望遠鏡の配置などの打合せは、後日プラネタリウム事務所で、坂本さんと山田（明）さん、加藤で行うことにした。

お月見ウォッチングについて、次のようなアイデアが出た。

- 携帯電話で月の写真を撮ってもらうコーナーを設けてはどうか。月なら、双眼鏡ぐらいでも撮影できるのではないかと。
- 水面（風の丘の池）に月が映っている状態を眺めてもらってはどうか。
- 過去には、月の光を蓄光プラスチックに集めて持って帰ってもらったこともある。

4 合宿について（10月9～11日）

2泊3日で予約をしている。もちろん1泊2日での参加も可能。

また、運良く(?)「スター・フェスタ」というイベントが10日に清和高原天文台で開催される。ちょうど合宿と重なったこともあり、MYPとして出張観望会で行っているような星空解説を、イベントの中で行う予定である。

参加予定の方は、日程を確認しておいて下さい。

5 望遠鏡活用講座（11 月 13 日）

望遠鏡活用講座の受付について、市の広報誌（ユリックス・サラダ）に募集を掲載する時期になりました。10 月 5 日から募集を始めることにした。

昨年は 6 月に実施したため、18 時 30 分スタートだったが、今年は秋なので（日没時間も早い）1 時間開始時間を早めて 17 時 30 分から開始することにした。終了時間も早めて、20 時頃終了の予定。

募集定員は 10 組（望遠鏡を持っている：5 組、望遠鏡を持っていない：5 組）で募集することになっている。

11 月 6 日に、参加者が持参する望遠鏡の情報をみんなで共有し、活用講座の対策会議を行う予定。

- 山田（明）さん

昨年はアンケートをとっていなかったが、やはり参加者の評価はあった方が良くと思う。今年は、参加者にアンケートをとってはどうか。

（角田 > 3 年前のアンケートが残っているので、それを基に準備しておきたい。対策会議の日にみなさんにアンケートの内容を確認してもらいたいと思う。）

- 角田

昨年の反省点として、望遠鏡を持っていない組が 5 組だったが、それぞれの組の参加者が多かったこともあり、2 つの班に分けたが、3 組になった班の方のうち、お一人で参加されていた方が、家族で参加された組に遠慮して、あまり望遠鏡に触れなかったというものがあつた。望遠鏡を持っていない組は、参加人数に応じて早めに受け付けを終了するなどの対応を取った方が良くかもしれない。

6 今年のクリスマスについて

今年は、プラネタリウムリニューアルのため、例年行ってきた、クリスマス番組の制作という活動がない。そこで、その代わりに、なにか別の活動を行えたらということで話を進めてきた。しかし、活動の候補日となっていた 12 月 12 日（日）に、山田（明）さんの参加が難しくなってしまった。

せっかくなので、何か活動を行いたいという気持ちはある。誰か他の人がリーダー（というか旗振り役）となってもらえないか、また、他の日程の可能性も含めて話を進めていった。

今回のサロンでは、特に代案などはでなかったため、今後のサロンでも継続して話していくことにした。

7 寄贈フォトフレーム（画像内容について）

並木さんからの寄付金プロジェクトで、フォトフレーム、双眼鏡、Nintendo DS L、星空ナビを購入した旨の報告が山田（明）さんよりあつた。

フォトフレームでは、午前 9 時から午後 5 時 30 分までの時間に、プラネタリウム前のショーケース内で自動再生を行っている。今のところ、仮ということで角田がこれまでの活動写真や文字を入れている状態である。今後、新しい活動写真に差し替えていきたいが、どうやって進めていこうかという提案であつた。

- 山田（明）さん

ほしぞらスタッフが、それぞれ撮影した写真もあるので、そういったものも集めて、みんなで選べるようにしたい。ぜひ、みなさんが撮影した活動写真を、事務所に持ち寄ってもらいたい。なにか、みんなが見られるような仕組みがあると良いが。（角田 > 角田に写真のファイルを渡してもらえれば、集約して保存しておきます。）

- 篠原さん

MacOSX のソフトで、簡単に写真を Web で公開できる。それを使ってみてはどうか。

篠原さんから紹介いただいたソフトを使って、今後、順次活動写真を Web でみんなが見られるような環境を整え

ていきたいと考えている。みなさんがお持ちの、活動写真がありましたら、ぜひお持ち寄りいただきたい。

8 今後の出張観望会

- 9月17日（金）18時～出張観望会 山口小学校（場所：ユリックス）
- 9月19日（日）18時～出張観望会 上西郷小学校
- 9月25日（土）18時～出張観望会 日の里地区コミュニティ（場所：日の里西小学校）

9 今後の予定

- 9月23日（祝・木）18時集合 19時30分～ほしぞらウォッチング（お月見観望会）

次回ほしぞらサロンは9月18日（土）です。